

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
東北電子専門学校	昭和51年3月31日	吉田 博志	〒980-0013 仙台市青葉区花京院一丁目3番1号 (電話) 022-224-6501			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人日本コンピュータ学園	昭和61年10月22日	理事長 持丸 寛一郎	〒980-0013 仙台市青葉区花京院一丁目3番1号 (電話) 022-224-6501			
目 的	建築業界で活躍するために必要な実践的かつ専門的なスキルおよびヒューマンスキルの高い建築士、施工管理技術者を育成する。					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時間又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
工業	工業専門課程	建築科(建築工学科コース)	2年(昼)	2052単位時間 (又は単位)	平成26年 文部科学省告示 第7号	—
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	1083単位時間 (又は単位)	313.5単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	1083単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	27人	3人	6人	9人		
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日			成績評価	■成績表 (有) 無) ■成績評価の基準・方法について 定期試験・レポートおよび授業に取組む姿勢をもとに評価	
長期休み	■学年始め：4月1日～4月6日 ■夏 季：7月24日～8月23日 ■冬 季：12月24日～1月7日 ■学 年 末：3月20日～3月31日			卒業・進級条件	年間800時間以上履修しており、2年間で1,700時間以上履修していること、かつ履修すべき全科目の評定が合格していること	
生徒指導	■クラス担任制 (有) 無) ■長期欠席者への指導等の対応 担任及び学生サポート室を中心に指導			課外活動	■課外活動の種類 スポーツ大会等 ■サークル活動 (有) 無)	
就職等の状況	■主な就職先、業界等 建築業界 ■就職率 ^{※1} 100.0% ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} 71.4% (平成28年度卒業者に関する平成29年4月1日時点の情報)			主な資格・検定	2級建築施工管理技術検定 CAD利用技術者試験	

<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者 5名 ■中退率 19.2%</p> <p>平成28年4月1日在学者 26名 (平成28年4月入学者を含む) 平成29年3月31日在学者 21名 (平成29年3月卒業生を含む)</p> <p>■中途退学の主な理由 学業不適應</p> <p>■中退防止のための取組 担任及び学生サポート室を中心としたフォローおよびカウンセリング、メンタルヘルズ講座</p>
<p>ホームページ</p>	<p>URL: http://www.jc-21.ac.jp</p>

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除いたものとする。
- ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※ 「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

本科の教育課程の編成においては、建築について知見のある企業、業界団体などが委員として参画する「教育課程編成委員会（建築分野）」を設置し、職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成するための教育課程の編成について組織的に取り組み、実践的職業教育の質を確保する。

委員会では、業界の人材の専門性に関する動向、地域の産業振興の方向性、今後必要となる知識や技術などを分析し、実践的職業教育に必要な授業科目の開設や授業方法の改善の提案を行い、企業等の要請を十分に生かした教育課程の編成に資する。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成29年4月1日現在

名 前	所 属
松田 純也	一般社団法人宮城県建築士事務所協会
栗原 憲昭	株式会社盛総合設計
高橋 清秋	有限会社高橋建築設計事務所
石黒 大	株式会社石黒建築工房
柏 秀幸	東北電子専門学校 学科主任(委員長)
松野 義勝	東北電子専門学校 学科主任(副委員長)
高橋 敬	東北電子専門学校 教務課長・学科主任
伊藤 功啓	東北電子専門学校 学科主任

(開催日時)

第1回 平成28年 9月30日 16:00~17:20

第2回 平成28年11月18日 16:30~17:30

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

実践的かつ専門的な能力を育成するために、企業等と組織的な連携を取った実習が重要と考えている。連携するにあたっては、知識・技術の学修に加えて、実務を遂行するに必要なヒューマンスキルや仕事に対する意識・姿勢への「気づき」を得ることも重視する。

また、企業の選定にあたっては、実践的なアドバイスを受けて必要なスキルが修得できるように、現役の建築士を派遣でき、企業の指定施設で実習・演習の指導ができる企業を選定する。

科目名	科目概要	連携企業等
建築設計製図Ⅰ	軸組の作成実習で、板図作成、墨付け、加工、建て方を体験し、構造設計に必要な木造在来工法の特徴を理解する。	有限会社栗駒建業
建築設計製図Ⅲ	住宅設計に必要な設計、図面表現方法を学び、二級建築士設計製図試験に必要な設計製図力を修得する。	株式会社空間環境研究所

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

学校は、教員に対する研修の必要性を把握し、その必要性に応じて研修計画を策定し、計画に基づいて研修を実施する。その内容として、専攻分野の実務に関する知識や技術及び授業や生徒に対する指導力等を修得させ、教員の能力及び資質等の向上を図る。必要な場合は、他の機関や企業等と共同して又は外部の機関に委託して研修を行うことがある。

これらについては、「学校法人日本コンピュータ学園 教員研修規定」に定めており、この規定に基づいて研修を実施している。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成29年4月1日現在

名 前	所 属
小野 仁	宮城県産業技術総合センター
川島 健太郎	株式会社ヒノタマ
菊田 正信	東北管理株式会社 (卒業生)
栗原 憲昭	株式会社盛総合設計
佐藤 浩之	株式会社アルゴグラフィックス
佐藤 富士夫	宮城県電気工事工業組合
柴森 則夫	株式会社ミヤギテレビサービス
庄司 直人	株式会社リード・サイン
関口 靖志	株式会社ヤマハミュージックリテイリング
角田 透	株式会社JC-21教育センター
手島 幸治	リコージャパン株式会社
河原 薫	株式会社舞台ファーム
西村 宜起	東北芸術工科大学
早川 智子	株式会社メンバーズ

(学校関係者評価結果の公表方法)

ホームページにおいて公表する。

URL: <http://www.jc-21.ac.jp/>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

ホームページ及び広報誌等において公表する。

URL: <http://www.jc-21.ac.jp/>

授業科目等の概要

(工業専門課程建築科建築工学コース) 平成29年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			工業数学	建築設計に必要な数式、図形の知識、三角関数などを学びます。	1通	57		○	△	
○			就職対策Ⅰ	一般常識や適性試験対策を中心に学習します。就活時必要となるエントリーシートや履歴書は、自己分析により適職を知ったうえ書き方を学びます。また会社訪問のしかたや面接はビジュアル教材を使い、実践トレーニングを行います。	1通	57		○	△	
○			就職対策Ⅱ	受験企業の研究、時事問題対策、面接訓練など、より実践的な就活トレーニングを行います。	2前	57		○	△	
○			建築設計製図Ⅰ	建築実務の基礎として建築図面の理解と表現方法を修得します。また、建築物の見学で建築写真やスケッチ技術を修得します。	1前	114		△		○
○			建築設計製図Ⅱ	小規模建築物の課題を通して建築計画の理解を深め、設計手法を修得します。作品はパネルやスライド、模型でプレゼンテーションを行い実践力を高めます。	1後	114		△		○
○			建築設計製図Ⅲ	都市、自然環境との調和をめざす設計課題を通して材料・法規・環境の理解を深め、建築実務への応用方法を修得します。また、詳細図面の作成方法を学びます。	2前	171		△		○
○			CAD設計Ⅰ	CADの使用方法を学び、設計図とコンピューターグラフィックス技術を駆使した建築3Dパースの作成方法を修得します。	1前	114		△		○
○			CAD設計Ⅱ	建築物を3次元CAD上に作成することで構造・仕上げの理解を深め、3次元設計手法を修得します。	1後	114		△		○

○			建築計画Ⅰ	建築計画の基礎となる人や物の寸法や行動、住生活様式、建築の歴史から世界中の建築様式を学びます。	1 通	114		○		
○			建築計画Ⅱ	住宅計画の留意点を理解し、住宅の設計手法を学びます。また、安心安全な家づくりに欠かせないバリアフリーな福祉住環境整備手法を学び、計画力を高めます。	2 後	85.5		○		
○			建築計画演習	住宅計画の実践演習として建築士試験問題を題材に設計手順、留意点を学びます。さらに平面図・立面図・矩計図を時間内で作図する演習も行います。	2 通	114		△	○	
○			構造力学演習	問題演習を通して建築構造の解法、部材の力学的性質や構造設計法の基礎を学びます。	2 通	57		△	○	
○			建築一般構造	住宅に使われる木造と、ビルに使われる鉄筋コンクリート造・鉄骨造などの建築のしくみを学びます。	1 通	114		○		
○			建築材料	建築の構造及び仕上げ材料のそれぞれの基本性質、使用方法について学びます。	2 後	57		○		
○			建築生産	木造・鉄筋コンクリート造・鉄骨造を中心にその施工法と積算法を学びます。	2 通	57		○		
○			建築生産演習	在学中に学科試験が受験可能な2級建築施工管理技術検定試験の問題演習を行います。	2 通	57		△	○	
○			建築法規	建築基準法とその関係法規について、法律の考え方や基準の内容を理解し、基準に適合する設計方法を学びます。	1 後	57		○		
○			建築法規演習	建築士試験の会場に持ち込むことができる建築関係法令集を使って、二級建築士試験の問題演習を行います。	2 通	57		△	○	
○			建築実習Ⅰ	本物の材料を使った実物大模型の作成で、施工法を実践的に学びます。また、施工管理法の演習で建築施工管理技術者の実務を修得します。	1 前	57		△		○
○			建築実習Ⅱ	本物の材料を使った実物大模型の作成で、施工法を実践的に学びます。また、施工管理法の演習で建築施工管理技術者の実務を修得します。	2 通	85.5		△		○

○			卒業制作	自主課題による建築物の企画から設計、プレゼンテーションまでの一連を卒業制作としてまとめます。	2 後	228		△		○
○			コンピュータ基礎	コンピュータの基礎的概要についてパソコンからデータ通信まで幅広く学びます。	1 通	114		○		△
		○	建築環境工学	音、熱、光などの基礎を理解し、建築の環境計画手法を学びます。	2 前	57		○		
		○	建築設備	空調、電気、給排水、防災など建築物の機能として必要な設備を理解し、建築設備の設計方法を学びます。	2 後	57		○		
		○	構造力学	力の基礎となる、モーメント・合力・力の釣り合いと反力について学び、建築物に加わる力、部材の設計手法を修得します。	1 通	114		○		
		○	ボランティア活動	校内外におけるボランティア活動を行います。	1 後 2 後	28.5		△		○
		○	CG アプリケーション入門	3次元CGの初歩的な制作方法を学びます。	1 後 2 後	28.5		△		○
		○	英会話基礎	日常英会話の基礎を学びます。	1 後 2 後	28.5		○		
		○	コミュニケーションスキル講座	円滑な対人関係、組織の活性化、および、良いコミュニケーションに必要な「話す」「聞く」といった知識と能力を身に着ける。	1 後 2 後	28.5		△		○
		○	就職作文対策	就職試験で出題されることが多い作文について、基礎的な書き方やコツなどを学びます。	1 後 2 後	28.5				○
		○	経営とビジネス	技術者にも必要な会社における会計の基本と経営との関係について学びます。	1 後 2 後	28.5		○		
		○	実践カラーコーディネート	配色調和、色彩心理などカラーコーディネートの知識を基に、対象別の実践的配色技法を習得します。	1 後 2 後	28.5		○		△
合計					20科目	2052単位時間(単位)		